

神奈川県が目標医師数

【暫定的に発表された指標を基に目標医師数を試算した場合】（6月時点暫定値）

⇒医師確保計画策定ガイドライン5-3-1（目標医師数）ふた〇目(P21)参照

・目標医師数（4年後の目標）＝現在の医師数+追加で確保が必要な医師数

○ 都道府県（三次医療圏）毎の目標医師数について

三次医療圏名	医師偏在指標(A)	下位1/3の基準値(B) (32位山口県)	人口(単位10万人)(C)	医療施設従事医師数(人)(D)	目標医師数 (B-A)×C+D (下位1/3の場合算定)	地域の区分※1
神奈川県	232.5	214.2	91.71	18,784	(18,784)	中間

※1 地域の区分：「多数」：医師多数三次医療圏、「少数」：医師少数三次医療圏、「中間」：その他の三次医療圏

○ 二次医療圏毎の目標医師数について

2次医療圏名	医師偏在指標(A)	下位1/3の基準値(B)	人口(単位10万人)(C)	医療施設従事医師数(人)(D)	目標医師数 (B-A)×C+D	地域の区分※2
横浜	250.4	162.8	37.38	8,129	(8,129)	多数
川崎北部	272.2	162.8	8.39	1,682	(1,682)	多数
川崎南部	322.9	162.8	6.49	1,548	(1,548)	多数
相模原	224.1	162.8	7.18	1,657	(1,657)	多数
横須賀・三浦	223.1	162.8	7.23	1,570	(1,570)	多数
湘南東部	189.2	162.8	7.22	1,225	(1,225)	中間
湘南西部	209.8	162.8	5.82	1,264	(1,264)	多数
県央	162.8	162.8	8.54	1,136	(1,136)	中間
県西	155.5	162.8	3.47	573	596	不足

※2 地域の区分：「多数」：医師多数二次医療圏、「少数」：医師少数二次医療圏、「中間」：その他の二次医療圏

(注)現時点では、将来時点(2036年)の医師偏在指標（産科・小児科）は発表されていないため、将来時点の必要医師数、将来時点の偏在対策基準医師数（産科、小児科）の算出はできない状況。

外来医師多数区域の設定

【暫定的に発表された指標により外来医師多数区域を設定の場合】（6月時点暫定値）

⇒外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン4-2（外来医師多数区域の設定）

ひと〇目(P14)参照

・外来医師偏在指標の値が全二次医療圏の中で上位33.3%に該当する二次医療圏を外来医師多数区域と設定する。

2次医療圏名	外来医師偏在指標	外来医師多数区域該当の有無
横浜	107.8	外来医師多数区域
川崎北部	100.2	
川崎南部	110.7	外来医師多数区域
相模原	73.8	
横須賀・三浦	99.3	
湘南東部	107.4	外来医師多数区域
湘南西部	56.1	
県央	72.7	
県西	78.6	